

1 単元名 本と友だちになろう ～スイミーの気持ちを想像して～ 「スイミー」

2 単元の目標

- 登場人物の心に寄り添って読むことで世界が広がる物語文のよさに気づき、進んで読むことができる。(関心・意欲・態度)
- レオ＝レオニのほかの作品を読むことで読書への興味を高め、そのよさが伝わるように、紹介文を書くことができる。(書く)
- ◎ 登場人物の気持ちや、場面の様子を考え、想像を広げながら楽しく読むことができる。(読む)

3 単元について

本教材は、主人公のスイミーが、大きな魚によって仲間を失った後、また仲間を見つけ、今度は協力して大きな魚を追い出し、再び楽しく海の中で暮らすストーリーの物語文である。大きな魚から逃げるスリルや、美しい海への感動、赤い魚たちと協力して大きな魚を追い出す喜びなど、場面ごとに大きく変化するスイミーの気持ちを想像しながら、物語を読む楽しさを味わうことのできる教材である。また、場面ごとに物語の内容に合った温かな色合いの挿絵が載せられている。これは、子供たちの教材への興味をひくだけでなく、気持ちを想像していく際に、豊かなイメージ作りの一助となると考える。

4 児童について

本学級の子供たちは、1年生の時に「ずうっと、ずっと、大すきだよ」や「たぬきの糸車」の学習で、いろいろな物語文に興味をもって読んだり、登場人物の気持ちに心を寄せた感想を書いたりするなどの学習をしてきている。ここでは、今まで大まかにとらえていた登場人物の気持ちを、場面ごとに細かく想像していくことで、より深く物語の世界に浸ることができるようにしたい。

5 指導について

主人公の気持ちを想像しながら読み進めるため、本文をコピーしたワークシートへの書き込みと主人公のスイミーになりきって書く『スイミー日記』の活動を行う。両方とも、よりスイミーに心を寄せて読むために、吹き出し形式で書くようにしたい。

また、場面ごとにスイミーの気持ちについて話し合いを行うことによって、様々な角度からスイミーの気持ちを想像し、思いをよりふくらませたり、表現したりすることができるようにしたい。その際、多くの子供たちが話し合いに参加しているという思いをもち、意思表示することができるように、ハンドサインを取り入れる。

単元の終わりには、レオ＝レオニの他の作品を読み、その中でおすすめの本の紹介カードを書く。それを発表し合うことで、物語の世界に対する興味を高めたい。また、調べた内容を伝える工夫を考える活動や、それを生かして発表する活動を通して、伝え合うことの大切さや難しさ、おもしろさを味わわせたい。

6 指導計画 (15時間配当) 本時 5 / 15

時	学習内容	ね ら い	関	話	書	読	言	評 価 規 準
第一次 (2)	初発の感想を書き、話し合う。	教材文に興味をもち、読みのめあてをもつ。	◎					(関心・意欲・態度) 物語に興味をもち、進んで感想を書いたり発表したりしているか。
第二次 (8)	場面ごとにスイミーの気持ちについて話し合い、場面ごとに『スイミー日記』を書く。(本時 3/8)	スイミーの気持ちを想像しながら読み、主人公になりきって吹き出しや『スイミー日記』に書くことで、読みを深める。			○	◎		(読む) 場面ごとの様子やそのときのスイミーの気持ちを想像しながら読むことができる。 (書く) スイミーの気持ちを想像しながら、分かりやすく豊かな表現で、吹き出しや『スイミー日記』に書くことができる。
第三次 (5)	レオ＝レオニのほかの作品を読み、選んで本の紹介カードを書く。	レオ＝レオニのほかの作品の紹介カードを書き、発表し合うことで、読書への興味を高めることができる。	◎		○			(関心・意欲・態度) レオ＝レオニのほかの作品を進んで読むことができる。 (書く) 紹介に必要な項目を落とさずに、分かりやすい表現でカードを書くことができる。

7 本時の目標

- 3場面のスイミーの気持ちを，自分の書き込みと友達の見解とを比べながら想像することができる。
- 話し合いを通して考えたスイミーの気持ちを，スイミーになりきって日記に書くことができる。

8 準備物

書き込み用ワークシート 『スイミー日記』の紙 挿絵の拡大図 拡大した本文

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)
<p>○ 前時の復習のため、『スイミー日記』を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きなまぐろが来て，びっくりした。 ・ 仲間が食べられて，悲しい。 ・ 大きな魚から，逃げられてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のスイミーの気持ちを振り返ることで，本時のスイミーの気持ちと比較することができるようにする。
<p>第 3 場 面 の ス イ ミ ー の 気 持 ち を 考 え よ う 。</p>	
<p>○ 書き込みをもとに，第3場面のスイミーの気持ちを話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><仲間を失ったスイミーの寂しさに心をよせる子供> スイミーは，暗い海の底にひとりぼっちで寂しいと思う。仲間が食べられてとても悲しいと思う。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>もしかして，両方の気持ちがあるのかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><一人でもがんばろうとするスイミーに心をよせる子供> 海の中にはとてもきれいなものがたくさんあって，元気になった。仲間がいなくても，海の中にはたくさんの生き物が住んでいるから，平気だよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>なつ見てきれいな生き物を見た。一緒に見たくさうだ。余計寂しく</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><すばらしいものを見て，驚くスイミーに心を寄せる子供> 海には不思議な生き物がいっぱいいるんだな。きれいだなあ。こんなものが海の中にあるなんて，知らなかったよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>な気持ちも同じようにきれいな気持ちでも見たくさうだ。元気がうな</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時で学習する内容を確認するために，全員で音読する。 ・ 様々な根拠をもった意見を交わせるために，自分なりの考えとその根拠を，事前に，一人一人にもたせておく。 ・ 友達の意見に対して，自分の意見との異同や聞いてみたいことがあるなど意思表示をするために，ハンドサインをするよう促す。 ・ 場面の様子を把握したり，思いや考えをふくらませたりすることができるように，挿絵の拡大図を用意する。 ・ 子供同士の意見のかかわりが生まれるよう，事前に書き込み内容を把握し，指名や助言を行う。 ・ 気持ち毎にまとめ，整理して板書する。 <p>☆ 場面の様子やスイミーの気持ちを考えるために，進んで話し合いに参加しているか。 (発言・ハンドサイン・表情…関心・意欲・態度)</p> <p>☆ 自分の意見と比べながら友達の話を聞き，意思表示しているか。 (発言・ハンドサイン・表情…読む)</p>
<p>○ 話し合ったことを振り返りながら，『スイミー日記』を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ぼっちで寂しいけれど，がんばらなくちゃ。きっといつかいいことがある。 ・ 海にはこんなにたくさんきれいなものがあるなんて知らなかった。飲み込まれた仲間たちにも見せてあげたかったな。 <p>○ 次時のめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スイミーは次の場面でどんな気持ちになっていくのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『スイミー日記』の紙を準備する。 ・ 話し合った内容を振り返り，スイミーになりきって『スイミー日記』を書くよう指示・助言をする。 <p>☆ 場面の様子やスイミーの気持ちを自分なりの読みを生かしながら，話し合いの内容を踏まえて，『スイミー日記』を書いているか。 (『スイミー日記』…書く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合ったスイミーの気持ちの変化について見通しをもたせることで，次時への意欲を高められるようにする。